

# 「里川」研究 進捗報告

2004.08.06

田口組

## <田口組の認識>

- 何のための研究か？ = 「水の文化センター」の役割

『「里川」の構想』の発信

「里川」という象徴語のもとに、  
「使いながら川を守る」ことを社会に提案する

- 研究の動機 = 具体的な内容へ落としこむには？

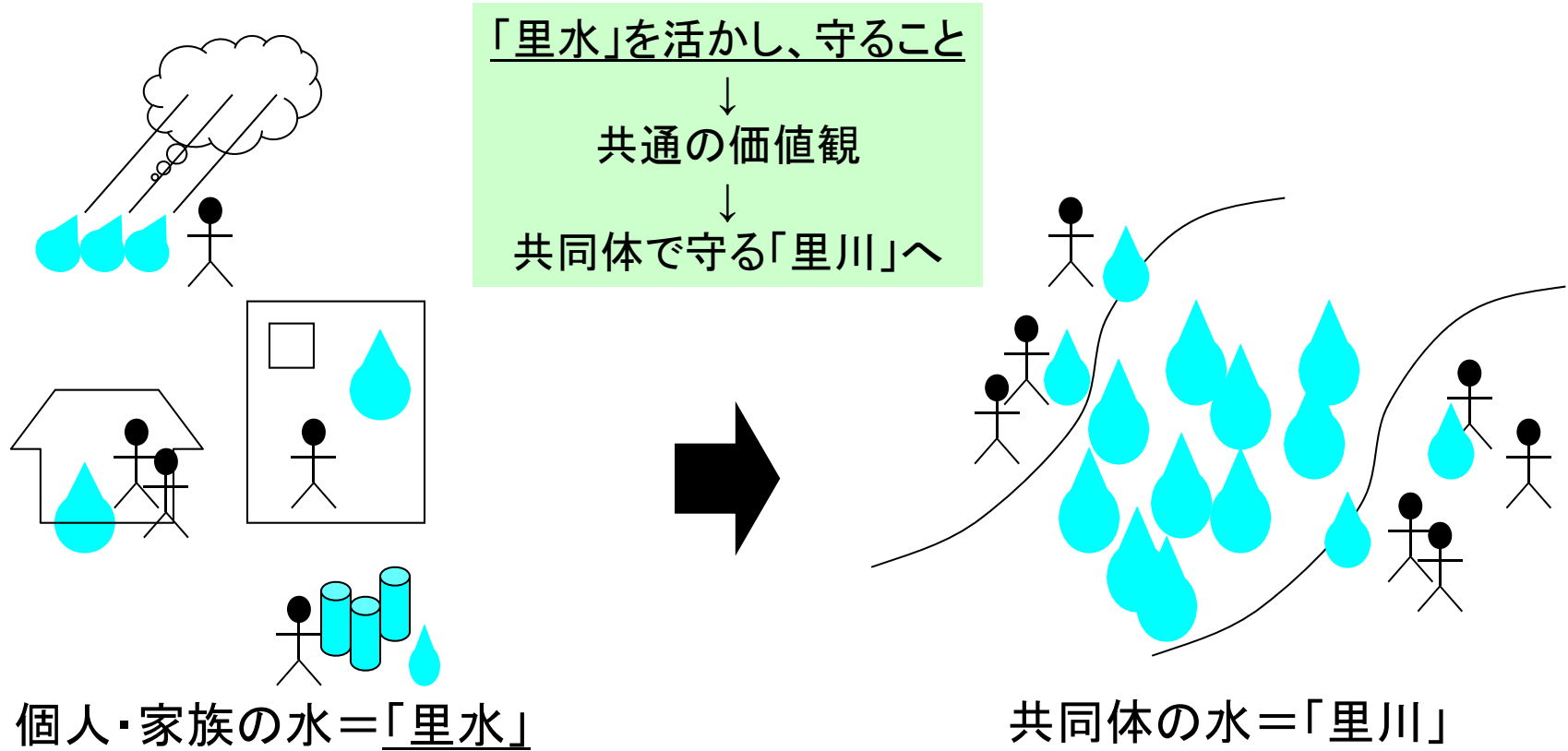
1. 『里川』=「居住地に近いみんなを守る川」

- ？ 都市における『里川』イメージとは
- ？ 都市の共同体意識とは

2. 「使いながら川を守る」こと

- ？ 使う、守る—川との関わりとは

●研究の対象(再々整理)



<個人と水との関わり>

- ・雨水
- ・生活用水
- ・購入水
- ・癒しの水

まずは学ぶ  
具体的視点の探索

<共同体と川との関わり>

- ・日本人の川との関わり
- ①濃尾輪中(大垣含む) vs オランダの比較を例として
- ②水の原体験の場と状況

●進捗(04・04~08)

1. 研究対象の再々整理

- 「里水」の提案

2. 個人と水との関わり

- 「雨水利用」が突破口となりうるか？  
... 普及の問題点

3. 共同体と水との関わり

- 日本人の川との関わり  
濃尾輪中(大垣含む) vs オランダの比較に意味があるか？  
... 比較、研究対象としての有用性

## 2. 個人と水との関わり

・「雨水利用」が突破口となりうるか？

… 普及の問題点

①「雨水」→「汚水」で下水道料金課金（自費メーター、自己申告）。  
ドイツでは「雨水」として課金。大規模施設では貯留、浸透で減免。

②コスト対効果：一般住宅は水道料金安く、回収困難

③助成制度あるものの実績上がらない場合もある



「水の活用、循環における個人の役割」を視点を広げて探る

参考文献：和田安彦他,水を活かす環境都市づくり,技報堂出版,2002

参考文献：藤原宣夫,都市に水辺をつくる,技術書院,1999

出典：辰濃和男、村瀬誠,雨を活かす,岩波アクティブ新書104,岩波書店,2004

### 3. 共同体と水との関わり

- 日本人の川との関わり

濃尾輪中(大垣含む) vs オランダの比較に意味があるか？  
... 比較、研究対象としての有用性

#### <自然観の比較>

日本 : 人の力のおよばない自然の世界と人の住む世界の境にある中州、河原。  
あの世とこの世の境。

西洋 : 自然管理者としての人間。

#### <信仰対象としての川>

日本 : 滝、橋(嫌う神、道祖神)、神・祖霊の移動路

西洋 : ? 古代ローマ(橋)

出典: 網野善彦, 河原にできた中世の町, 岩波書店, 1988

出典: 川田順造, ヨーロッパの基層文化, 岩波書店, 1995

出典: いろさちや他, 川と文化, 朝日カルチャーセンター, 1994

## <地理、治水の比較>

濃尾輪中(日本)	オランダ
<p>中部圏の水の都「大垣」を含む 日本最大のゼロメートル地帯 木曾三川 木曾:229km,5275km<sup>2</sup>,<u>流量比1/60</u> 長良:166km,1985km<sup>2</sup> 揖斐:121km,1840km<sup>2</sup> <u>掘田(現在はない)</u></p>	<p>世界的な水の国 国土の27%が海面下 ライン川 1320km,220150km<sup>2</sup>,<u>流量比1/18</u>  <u>ポルダー(遊水地)</u></p>
<p>整備水準:<u>30~40年(66%,1994)→100年(100%)</u>  <u>氾濫を受け止め、避難・水防</u> →水の排除(堤防、海へ速く押し出す) →下流部での都市水害,整備水準を越える水害 → ? (一部遊水地の例あり)  用地の徹底的な利用 利害関係者の狭い限定</p>	<p>整備水準:<u>10000年(100%,1985)</u>  徹底的な水の排除(堤防、海へ速く押し出す) →予想を上回る増水 →「川にみちをゆずる(氾濫域)」政策へ <u>「水害を受容する思想」へ</u>  破壊的な被害を受ける場所の開発禁止 多数派形成が許されない合議制</p>

出典:インターネット上の資料より(文献、公的機関資料)  
出典:保屋野初子,川とヨーロッパ,築地書館,2003

## <濃尾輪中の研究対象としての有用性>

### 水との密接な関わりを持った地域

- ・身近な「水の都」
- ・関わり方の視点が多様
- ・都市化と関わり方の変化が著しい
- ・研究豊富
- ・オランダ人(デ・レーケ)の視点

個人/共同体と水の関係→その崩壊の歴史に学び、  
その後を提案する視点を、フィールドワークも含めて探る



参考文献: 安藤萬壽男, 輪中, 大明堂, S63

参考文献: 伊藤安男, 輪中/洪水と人間その相克の歴史, 学生社, S54

参考文献: 伊藤安男, 変容する輪中, 古今書院, 1996

参考文献: 松尾国松, 濃尾における輪中の史的研究, 大衆書房, H5

参考文献: 伊藤安男, 治水思想の風土, 古今書院, 1994